

プログラム名 (40字以内)	フィリピンで国際協力を考える～新興国におけるビジネス・政策の現場を訪ねる		
団体名/所属	フィリピン赤門会		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	10人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	国際的な経験が豊富な方はもちろん、海外渡航が初めての方も歓迎いたします。		
活動期間	活動期間: 2027/2/16(火)～2/19(金) 渡航日程: 2/15(現地入り)、2/20(帰国)	主な活動予定場所	フィリピン・マニラ
プログラム実施の目的	フィリピンにおいて、企業や大使館、日本政府機関、国際機関(アジア開発銀行)などを訪問し、同国の社会・経済および国際協力について多面的な理解を深める。		
具体的な内容(800字程度)	<p>Mabuhay! 皆さんはフィリピンと聞いて、どんな印象をお持ちでしょうか？日本の報道では、貧困や治安などの問題が多く取り上げられていますが、実際のフィリピンは豊かな自然資源と活気ある若い労働力によってダイナミックな成長を遂げている新興国でもあります。現地のビジネスや政策の現場では、多様な課題に官民が連携して取り組んでおり、その中で日本とフィリピンの関係も着実に深まってきていると感じます。</p> <p>本プログラムでは、国際協力に関心のある学生を対象に、フィリピンの社会や経済の実態を現地で体感し、新興国におけるビジネスや政策支援の面白さや難しさについて理解を深める機会を提供します。</p> <p>4日間にわたり、マニラおよびその周辺地域で以下のような活動を予定しています(内容は受入先の状況により変更となる場合があります)。</p> <p>1. 企業訪問 日本人同窓生が勤務する民間企業(商社・銀行・製造業など)、日本大使館、JICA、アジア開発銀行などを訪問し、現地での仕事や生活について直接話を伺います。フィリピン人同窓生の勤務先(政府機関や現地企業など)を訪問する機会も設けます。使用言語は英語となる場合があります。</p> <p>2. フィールドビジット 現地NGOの協力のもとスラムエリアを視察する予定です。また受入先の了承が得られれば、日本が関与するインフラプロジェクトの現場も訪問し、官民連携による課題解決の実態を学びます。さらに、イントラムロスなどの歴史的地区や、BGC(ボニファシオ・グローバル・シティ)に代表される都市開発の現状も視察し、フィリピンの歴史・文化、そして現在について理解を深めます。</p> <p>3. フィリピン赤門会との交流 最終日にフィリピン赤門会との交流会(夕食会)を開催します。参加学生から簡単な報告も予定しています。</p> <p>ぜひ現地に足を運び、フィリピンを題材に国際協力のさまざまな側面を自分の目で見ていただき、今後の学びやキャリアを考えるきっかけにいただければと思います。</p>		
【総額】参加するための費用	150,000円～180,000円程度(最も安価な国際航空券を手配した場合)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	60,000円～80,000円程度(5泊、ツインまたはトリプルルームをシェア、朝食込み想定) ※治安と効率的な移動の観点から、フィリピン赤門会が指定したホテルに宿泊していただきます。		
【内訳】参加するための費用(交通費)	国際航空券: 50,000円程度～ ※参加者ご自身で手配していただきます。 現地借上車: 30,000円～40,000円程度(4日間利用、運転手へのチップも含む) ※フィリピン赤門会で手配し、利用状況に応じた総額を参加者で均等に負担する想定です。		
【内訳】参加するための費用(その他)	フィールドビジット(スラム見学など)の入場料や昼食代として、計10,000円程度を見込んでおります。なお、夕食代は含まれておりません。また、上記費用は2026年初頭時点での物価および為替レートに基づく見積もりであり、実際の費用は変動する可能性があります。		
奨励金額(予定)	40,000円		
備考	プログラム実施前に、内容や現地の治安に関するブリーフィングを行いますので、必ずご参加ください。 現地での移動は原則として借上車を利用し、必要に応じて現地居住者が随行いたします。 効率的なプログラム運営のため、日によっては朝8時から夜10時頃まで勤務が入るなど、タイトなスケジュールとなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体が応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		